



NiFA NEWS

JFA 第43回全日本U-12サッカー選手権大会 新潟県大会 グランセナ新潟FCジュニアグランデ 優勝



JFA第43回全日本U-12サッカー選手権大会 新潟県大会 試合結果

- 優勝 **グランセナ新潟FCジュニアグランデ**
- 準優勝 アルビレックス新潟U-12
- 第3位 ジェス新潟東SC
- 第4位 水原サッカー少年団

11月2日(土) 決勝戦 長岡ニュータウン
グランセナ新潟FCジュニアグランデ 1-0 アルビレックス新潟U-12

JFA 第43回全日本 U-12サッカー選手権大会

「新潟県大会優勝について」

グランセナ新潟FCジュニアグランデ 監督 中村 辰博

この度、「JFA第43回全日本U-12サッカー選手権大会新潟県大会」において、4年ぶりに優勝する事が出来た。

準々決勝からは、すべて1点差の緊迫した試合の中で、選手達は応援してくれている人たちの思いを胸に一生懸命プレーし、自分達が持っている力を出し切り勝利する事が出来ました。

そんな苦しい試合に勝利する事が出来たのは、5月に行われた全国大会での経験が大きかったと思います。そこでは私自身もそうですが、自分達の力不足を痛感させられました。個の高い技術や大舞台でも力を発揮できる強いメンタリティの部分、我々とは大きく違っていました。全国の強豪チームとの戦いを多くの選手が経験出来た大会だった為、一部の選手だけでなくチーム全員が大会後から悔しさを胸に、1日1日を大切に過ごす事が出来たと思います。そして多くの選手が、もう1度全国大会に出てリベンジしたいという強い思いを持ってこの大会に臨みました。

全国大会では、新潟県大会5試合無失点という堅い守備を武器に、新潟県の代表として恥じない戦いをし、最高の舞台でサッカーを楽しみたいと思います。最後にありますが、今大会を運営して頂いた関係者の皆様、ご支援、ご協力頂いた全ての皆様はこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

JFA 第43回全日本 U-12サッカー選手権大会

「新潟県大会優勝について」

グランセナ新潟FCジュニアグランデ 主将 安田 陽平

決勝戦、1点差で勝っていて試合終了のホイッスルが鳴った時は、「新潟県で1位になった！」と、とても嬉しい気持ちになりました。試合中は、決勝戦という事もあってとても緊張していましたが、キャプテンとして声を出していつも通りのプレーをしようと心掛けました。

春にあった全国大会では、1試合に6失点という苦しい試合があり、予選敗退で良い結果が出せず県外チームの強さを思い知らされました。けれどその大会で自分の足りない所、チームで足りない所がわかり、それから日々一生懸命練習に取り組みました。この県大会の優勝は、こうして頑張ってきたのもチームメイトやコーチ、家族の支えや応援があったからです。感謝の気持ちを忘れずにこれからも頑張りたいと思います。

12月に行われる全国大会では、戦ってきた他のチームの思いも背負って新潟県の代表として精一杯力を出しきり、優勝を目指して1つでも勝ち進みたいと思います。

いきいき茨城 ゆめ国体

第74回いきいき茨城ゆめ国体に 参加しての報告、感想など

成年男子新潟県選抜チーム 監督 有田 一矢

初めに、第74回いきいき茨城ゆめ国体参加子新潟県選抜は1回戦に向け9月26日(木)からスタッフ7名、選群馬県選抜とト伝の郷手15名(JAPANサッカーカレッジ11名、新潟経営大学4名)のメンバーを変更せずJAPANサッカーカレッジのグラウンドで3日間調整トレーニングを行い、9月28日(土)に茨城県鹿島市へ移動し、翌日、鹿島ハイッグラウンドで最後の調整練習を行い1回戦に臨みました。

茨城ゆめ国体は9月30日(月)から成年男子新潟県選抜は1回戦に向け9月26日(木)からスタッフ7名、選群馬県選抜とト伝の郷手15名(JAPANサッカーカレッジ11名、新潟経営大学4名)のメンバーを変更せずJAPANサッカーカレッジのグラウンドで3日間調整トレーニングを行い、9月28日(土)に茨城県鹿島市へ移動し、翌日、鹿島ハイッグラウンドで最後の調整練習を行い1回戦に臨みました。

いきいき茨城ゆめ国体を終えて

女子 監督 佐々木友昭

この度、いきいき茨城ゆめ国体2019に出場してきました。今回の出場に関して、関わって頂いた選手、スタッフ、選手を派遣して頂いたチーム、サポートして頂いた協会のご理解とご協力に感謝致します。北信越国体後は、国体メンバーでの練習時間は多くなかったですが、バックアップメンバーを含め、選手一人一人

この度、いきいき茨城ゆめ国体2019に懸命チャレンジしてくれました。初戦の相手は東京都で、個人のスキルが高い選手が集まっていたのですが、相手に臆する事なく選手一人一人が自分にチャレンジし、チームとして勇気を持って戦ってくれました。ピッチは本国体に向けて一生懸命チャレンジしてくる選手が、次年度に向け各チームで選手各々が力を付け、次年度の北信越国体突破、鹿島国体へ出場に向け頑張りたいと思います。

で、昨年度福井国体で優勝している福井県成年男子(福井ユナイテッド)と13:00キックオフで行われ前半18分、24分にそれぞれ失点し前半0対2で折り返し後半戦は0対0で終了し、トータル0対2で敗退し全国ベスト8入りで、いきいき茨城ゆめ国体を終えました。1回戦2回戦とも得点出来ず攻撃面においてフィニッシュの改善や攻撃の崩しに改善をしないとけない課題や問題が発生しました。また、守備面においても全体で連動した守備がチーム全体で出来る様にする事と最終ラインでの粘り強い守備とカバリングができるように今後取り組みたいと思います。来年度克服して更に進歩した新潟県選抜チームを作れるように努力

た。結果は0-0で、PK戦の末負けてしまいました。試合後の選手の悔しそうな表情と、自分にチャレンジ出来た満足感の表情が印象的でした。これで今年の国体活動は終わりとなりますが、次年度に向け各チームで選手各々が力を付け、次年度の北信越国体突破、鹿島国体へ出場に向け頑張りたいと思います。

たくさんの応援をありがとう。ごさいました。



新潟

フットボールデー in新潟 2019

新潟市サッカー協会 理事長 佐々木 篤 行

9月1日、鳥屋野運動公園球技場にて『フットボールデー in新潟 //2019』を開催致しました。

例年通り、新潟市内のジュニアチーム選手・OB/OJ・保護者さん・指導者コーチチームでの対抗戦形式によるフェスティバルを行いました。

毎回参加者の皆さんが楽しみにしています。試合内容と言え、ジュニアチームは日頃の練習成果を存分に発揮し気持ちの入った活気に満ち溢れたプレーでした。その中でも保護者との対戦は観客も大爆笑の試合でした。

今回も、ママさん達の試合はととても白熱していてファインプレー連発で、観客もビックリしていた事が印象に残っています。ナイスプレー(@_@)素晴らしい…!(^^)!

コンディションは青空の下もう最高でした。ピッチ上は笑顔・笑い・爆笑・飛び散る汗・あせ・汗で、今回も本当に素晴らしい大会になりました。

今回も『フットボールデー in新潟 //2019』は、『みんなで楽しくプレーをし、たくさんの笑顔があふれ、年代を超えてできるスポーツ=サッカー』である事を強く強く感じ、翌年も継続しサッカーファミリーの輪をより一層広げていきたいです。

各カテゴリー・年代・お父さん・お母さんの交流の場として、「たくさん笑顔=フットボールデー」になるよう、今後も開催していきたいと思っております。

尚、当日参加していただいたチームの皆様、保護者様、運営にご協力いただいた関係者各位には、心より感謝し御礼を申し上げます。

誠に有難うございました。



上越

フットボールデー開催報告

上越地区サッカー協会 理事長 栗原 仁

9月8日(日)糸魚川市美山陸上競技場の天然芝コート2面を使用してU-9サッカーフェスティバルを行いました。上越地区から9チームが集まり、参加選手120人程度、保護者やサッカー関係者を含めると約200人の参加でした。非常に良い天気で気持ちのいい天然芝グラウンドで楽しくフェスティバルを行うことができました。試合経験の少ないU-9年代を対象に、ゲーム経験と技術の向上を目指し、より広い年齢層へのサッカーの普及、サッカーに係わる保護者への周知とサッカーファミリーの拡大を主旨としています。試合を重ねていくうちに、参加してくれた子供達と保護者の皆様も熱く楽しそうにゴールを目指し、ボールを追いかけてくれました。昨年度のフェスティバルは、妙高市で行いましたが、今回は糸魚川市で開催しました。上越地区でも広い地域なので格差解消のために開催会場を年度ごとに持ち回りにしていきたいと考えています。少ない時間ではありますが、もっとわかりやすくサッカーにふれる機会をつくり、もっとたくさんの人からサッカーの楽しさを知ってもらえるように工夫をこらしてこれからも続けていきます。



2019 フットボールデー

中越

「JFA フットボールデー 2019 in 十日町市」を開催して

中越地区サッカー協会 会長 若山 裕 (十日町市サッカー協会理事長)

9月22日(日)に本年もクロアチアピッチにて「JFA フットボールデー 2019 in 十日町市」を開催致しました。今年は、十日町市サッカー協会設立40周年記念ということで、2002年クロアチア代表キャンプを忘れることが無いように開催している、クロアチアカップサッカーフェスティバルと同日開催をしました。多くの方々より参加をいただき天候にも恵まれ最高の1日でした。

昨年と同様に、サッカーを見たことはあるけどボールを蹴ったことのない人や、学生時代に少しだけプレーをした方々など、サッカーを「する人」「観る人」「支える人」そして「応援する人」も対象とし親子51名の参加者で開催しました。

サブタイトル「なでしこキッズサッカースクール」と称し、親子でサッカーを通してスポーツの楽しさを知ってもらう内容です。

世界基準クロアチアピッチの天然芝の感触を確かめるように全員で寝転んだり、子供チーム、親チームの変則ルールで夫々対抗戦を行い、負けたチームは勝ったチームに対し賞賛をしっかりと贈り、勝者側はみんなでハイタッチし感謝の意を表していました。得点王には美味しいキャンデーのご褒美が今年もありました。

全員で大きな輪をつくり全員でハイタッチをし、満面の笑みでスクールは終了しました。

来年も是非開催を望む声が多くありましたので、来年度に向けて多くの方々のご協力を得ながら開催できればと思っております。



下越

「フットボールデー」を開催して

下越地区サッカー協会 理事長 国枝 晴 隆

新潟県下越地域を対象に、スポーツを楽しむ、サッカーを楽しむ、そして、家族の絆を深めるための時間を創出することを目的とした親子ふれあいサッカーを、2019年9月15日(日)五十公野陸上競技場(グリーンスタジアム)サブグラウンドで行いました。

午前10:00からスポーツに初めて触れるキッズや、サッカーを始めたばかりの小学生、中学校でもサッカーを続けたい女子などを主体に、これから先にサッカーファミリーの主役となる子どもたちにとって素晴らしいイベントになりました。

今年度は親子を含め100名近くの動員があり、次世代につながる多くの子ども達がサッカーとふれあうことができている。これからも、選手・審判・指導者という登録者だけでなく、愛好者や多くのサポーターを含めたサッカーファミリーへ、サッカー環境を充実していくことに取り組んでいきたいと思っております。そして、更なるサッカーファミリー人口の増加、そして下越地区全体のサッカーレベルの向上を目的に更なる飛躍をめざして、努力、邁進していく所存であります。

最後に

(一社)新潟県サッカー協会が掲げる「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創出し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。」という理念にもう一度立ち返り、明確な目標をもって進んでまいります。

今後とも下越地区サッカー協会をご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



第14回北信越クラブユース新人(U-14)大会に参加して

アルビレックス新潟U-15 李 英漢

この度、2019年10月12日(土)〜14日(月・祝)まで富山県にて行われました第14回北信越クラブユース新人(U-14)大会に新潟県第二代表として参加しました。

大会期間中に台風の影響で三日間行われる予定でした試合日程が変更され13日(土)と14日(日)に二日間三試合を行う事になりました。

13日に対戦しました富山県代表のカタレ富山U-15との試合ではボールは支配しつつも相手の人数をかけた守備になかなか得点を奪えずにいましたが前半に先制すると主導権を握り3-0で勝利することができました。

14日に雨の中に行われた準決勝、松本山雅U-15との試合では立ち上がり若干の硬さがありませんでしたがゴールを守ることができました。

北信越クラブユースサッカー新人U14大会

F. THREE U-15 檜山 勇貴

この度、北信越クラブユースサッカー新人U14大会に、北信越大会では、これまで積み重ねてきた技術を十分に発揮して頂きました。県大会での試合の内容はチームが目指していたようなものとは程遠く、選手達も悔しさを感じる

準決勝vs坂井フェニックス丸岡 1-4

底し尚且つ攻守にわたる連携を高めていったことがとても良かったと思います。

決勝戦では準決勝の試合から数時間後に行われ体力的にかなり厳しい状況でしたが坂井丸岡フェニックス相手に前半で4-0、後半6-0、合計10-0の大量得点で勝利し優勝することができました。

大会期間中に無失点で終えたこと、ボール支配率で相手を上手わられたことは今後の自信になったと思います。

今後は日々のトレーニングの質や運動量、選手間の連帯を高め更なるレベルアップを図ることを目標とし来年の北信越U-15リーグや夏、冬の全国大会予選に向けて準備していきたいと思います。

最後に台風の影響で非常に難しい中で大会を運営サポートしていただいた北信越クラブユース連盟の方々、富山県サッカー協会の方、選手と共に最後まで

U-13リーグ新潟県大会優勝及び北信越入れ替え戦に参加して

Artist a U-15 副井 祐介

今年度、U-13リーグ新潟県大会優勝という結果を得られたのは、選手達がしっかりと努力してきた成果です。真摯に真剣にサッカーと向き合い、自分と向き合ってきたからだと強く感じています。

今年度、U-13リーグ新潟県大会優勝という結果を得られたのは、選手達がしっかりと努力してきた成果です。真摯に真剣にサッカーと向き合い、自分と向き合ってきたからだと強く感じています。

今年度、U-13リーグ新潟県大会優勝という結果を得られたのは、選手達がしっかりと努力してきた成果です。真摯に真剣にサッカーと向き合い、自分と向き合ってきたからだと強く感じています。

今年度、U-13リーグ新潟県大会優勝という結果を得られたのは、選手達がしっかりと努力してきた成果です。真摯に真剣にサッカーと向き合い、自分と向き合ってきたからだと強く感じています。

新潟県U-11サッカー大会

○第27回新潟県U-11サッカー大会
令和元年10月22日(火祝)、11月4日(月祝)
長岡ニュータウン運動公園・柿崎総合運動公園

優勝 club F3
準優勝 club F3
第3位 長岡JYFCU-12、ジェス新潟東SC

U-11新潟県サッカー大会優勝について
監督 金子 匠
令和元年の記念すべき年に、優勝することができたことを誇りに思います。また、クラブとして大きな財産となりました。

U-11新潟県サッカー大会優勝について
監督 金子 匠
令和元年の記念すべき年に、優勝することができたことを誇りに思います。また、クラブとして大きな財産となりました。

リーグでの数試合、北信越参入戦では、1点又は2、3点のビハインドから逆転や同点とし、勝ち点を得ることができました。



U-13リーグ新潟県大会優勝及び北信越入れ替え戦に参加した選手たち。

県民共済カップ

県民共済カップ第17回新潟県キッズサッカー大会
令和元年9月21日(土)、9月22日(日)
新潟聖籠スポーツセンターアルビレックス・デンカビッグスワンスタジアム

優勝 アルビレックス新潟U-12
準優勝 FC大和ジュニオルス
第3位 アルビレックス新潟U-12
水原サッカー少年団、KF3

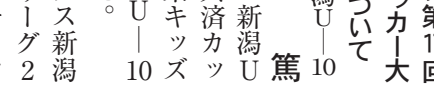
県民共済カップ第17回新潟県キッズサッカー大会U-10優勝について
監督 佐枝 篤
アルビレックス新潟U-12は、県民共済カップ第17回新潟県キッズサッカー大会U-10に参加しました。

県民共済カップ第17回新潟県キッズサッカー大会U-10優勝について
監督 佐枝 篤
アルビレックス新潟U-12は、県民共済カップ第17回新潟県キッズサッカー大会U-10に参加しました。

県民共済カップ第17回新潟県キッズサッカー大会U-10優勝について
監督 佐枝 篤
アルビレックス新潟U-12は、県民共済カップ第17回新潟県キッズサッカー大会U-10に参加しました。

県民共済カップ第17回新潟県キッズサッカー大会U-10優勝について
監督 佐枝 篤
アルビレックス新潟U-12は、県民共済カップ第17回新潟県キッズサッカー大会U-10に参加しました。

アルビレックス新潟U-10 主将 阿部 心
僕たちアルビレックス新潟U12は、県民共済カップで優勝することができました。



県民共済カップ第17回新潟県キッズサッカー大会U-10優勝した選手たち。

この場をお借りして、今回の大会を運営していただいた新潟県サッカー協会をはじめ、大会関係者の方々にお礼を申し上げます。ありがとうございました。また、今後ともアルビレックス新潟U-12に温かい声援をよろしくお願いたします。



アルビレックス新潟U-12の選手たち。

2019フジパンCUP 第18回北信越U-12サッカー選手権大会



2019フジパンCUP 第18回北信越U-12 サッカー選手権大会 試合結果

- 優勝** グランセナ新潟FCジュニアグランデ
準優勝 大虫フットボールクラブ
第3位 松本山雅FC
第4位 長野アンビシャスFC

- 決勝** 3-1 vs 大虫フットボールクラブ(福井県2位)
準決勝 4-1 vs 長野アンビシャスFC(長野県3位)
準々決勝 3-1 vs T・ボレーレUOZU(富山県3位)
1回戦 2-1 vs FCおおのスポーツ少年団(福井県3位)

フジパンカップに参加して

アルビレックス新潟U-12
 コーチ 佐枝 篤

アルビレックス新潟U-12は、11/16/17に金沢で開催されたフジパンカップU12北信越大会に参加しました。北信越各県の代表が集まるハイレベルな大会で、アルビレックス新潟U12は第5位という結果でした。自分たちの目標であった優勝という結果には届きませんでした。全4試合でアルビレックスは、1勝3敗という結果です。またピッチ内だけでなく、ピッチ外での言動にもアルビレックス新潟の選手として自覚ある行動を求めました。ホテルやバス、グランドで選手がそれぞれを随所に発揮できたと思います。また同時に多くの課題も見つけることができました。これらの課題はそれぞれの選手の次のステージで、またトライしていつてほしいと思います。

ラウンドで選手それぞれが意識して行動できたと思います。今回このような素晴らしい大会に参加できたことは、もちろんんチームとして新潟県大会で勝ち取った結果ですが、大会を運営していただいた北信越サッカー協会はじめ大会関係者の皆様のおかげです。ありがとうございました。

2019フジパンCUP 第18回北信越U-12サッカー選手権大会に参加して

ジェス新潟東SC
 代表 田村 務

この度、「2019フジパンCUP 第18回北信越U-12サッカー選手権大会」に新潟県代表として出場させて頂きました。

【ジェス新潟東SC】

- 1-2 大虫フットボールクラブ(福井県2位)
 3-1 速星少年サッカークラブ(富山県2位)
 4-0 ツエーゲン金沢U-12(石川県3位)
 2-2(PK2-3)GRANZAS FC(富山県1位)

選手達は北信越大会という素晴らしい舞台で精一杯、頑張りましたが勝負で踏ん張れず、上位進出とはなりません。この学年は今年的主要県大会に全て出場するもバーモントカップは決勝戦終了間際の逆転負けでの準優勝。春の県大会の新潟県U-12選手権大会も決勝戦終了間際に追い付かれ延長、PK戦の末、敗れ準優勝。また先日、行われたJFA第43回全日本U-12サッカー選手権大会新潟県大会では準決勝、スコアレスで延長にもつれ込み、延長後半に先制するも残り30秒を切ったところでのラストプレーで追い付かれPK戦の末、敗退。「勝負際」と一歩のところで悔しい敗戦ばかりでした。それでも、こういったステージを掴み取った選手達を誇らしく、感謝の想いでいっぱいです。

また普段のトレーニングの取り組み姿勢や向上心、満足感を感じさせない選手達には驚かされます。この北信越大会や全国大会がなかった試合での敗戦などから沢山の事を学び、この年代で得た貴重な経験を今後に生かし、更なるレベルアップに励み、最後に



中越地区女子委員会の活動

女子委員 永井 里美

今年度、中越地区では女子サッカー普及活動としてなでしこひろばを開催致しました。帝京長岡高校女子サッカー部員のサポートのもと、4歳〜ママさん年代まで幅広い年齢層で行う事が出来ました。中越地区でも男子に比べて、女子サッカーはまだ普及段階です。なでしこひろばを通じて、多くの女性にサッカーの楽しさ、そして人として成長できるサッカーというスポーツに少しでも興味を持って頂けたらと思っています。「ボールを蹴ることの楽しさ、何度も繰り返すことで出来るようになる喜び、そして一つ一つ出来るようになっていく喜び」を学んでみませんか？



FFPU—18 審判員研修会を終えて

朝妻 竜矢



今回FFPUの研修に県代表として推薦していただきとても嬉しかったのですが、それ

と同じくらい「県代表としてやっていけるのか」という不安がありました。北信越の研修会には一度だけ参加したことがあります。が、今回のように全国規模の研修は初めてでした。そんな不安を抱えたまま静岡へと向かいました。静岡に着いたから比較的すぐに試合がありました。同じグループの仲間と協力して担当することができました。4日間という短い期間でしたが

2019 NiFAレフェリーアカデミー

審判委員会 熊谷 幸剛

日頃より、当協会ならびに審判委員会の活動に際し、ご協力とご理解を賜りまして改めて感謝申し上げます。今年度の4月より皆様のご理解とご協力の

トヨタが指導するという大きな特色があります。現在は、7名の志を持った審判員が参加しております。まだまだ、受講生を募集しておりますので、興味、関心を持たれた方は、是非、気軽にご参加ください。審判から新潟県のサッカーを盛り上げていきましょう！

(田巻 督広)

自分、現在、プロフェッションナルレフェリーとして活動している西村雄一さんに憧れてレフェリーになりました。

審判活動を通して人としても成長できると感じております。今後は、2級審判員、できたら1級審判員、1級審判員、ストラクターを目指していきます。

(古山 和昭)

アカデミーでは、今まで選手としてプレーしていただけで知らなかった知識を得たり、1級審判員として活躍している方の経験を聞くことができ審判員としての成長を感じられています。さらなる成長を目指し、知識や経験を積んでいきたいと思っております。

(菅原 悠斗)

「第4回県協会・地区協会合同会議」実施報告

広域な新潟県では、各地区協会のこれまでの創意工夫の取り組みが新潟県サッカー隆盛の礎となっております。

新潟県サッカー協会は、各地区サッカー協会との連携・協働を深めるために会議を設け、各地区協会独自の取り組みや成果・課題を共有してまいりました。

この連携をベースに、今後加速される環境変化（人口減少・少子高齢化）・事業構造変化等に対応すべく、県協会・地区協会合同

会議を11月16日（土）新潟グランドホテルで開催いたしました。当日は、県協会役員と新潟市・上越・中越・下越地区サッカー協会の各代表者の皆様に参加されました。前段の会議では、県協会・地区協会がそれぞれ「現状課題と対策」、特に「人口減少による登録数の減少について」「FA自立に向けての対応策」・「次年度以降の取組みたい事業」・「県協会への要望」を公表し、その後全体で県協会・地区協会、共通の大きな課題である「サッカーファミリーの減少、キッズの普及・活動の在り方」等を論議に關連な意見交換、質疑応答が行われ多くの意見、要望等が出されました。県協会・地区協会のこれから先に向けて担う役割、連携の重要性を語り、次回に繋げていく必要性が確認されました。

お問合せ先 (一社)新潟県サッカー協会 事務局 熊谷 TEL: 025-233-0100 メール: kumagai@niigata-fa.or.jp

令和2年新春・講話とトークショー

令和2年1月12日(日) 新潟グランドホテル

1、新春講話会及びトークショー他 14時予定

・新春講話会 講師 原博実 氏 (予定)

・日本プロサッカーリーグ副理事長 日本サッカー協会常務理事

・トークショー アルビレックス新潟監督・選手 アルビレックス新潟レディース監督・選手 (予定)

2、新年会 16時45分予定

大会結果報告

○JFA 第23回全日本女子U-18サッカー選手権大会北信越大会 優勝・開志学園JSC

優勝・アルビレックス 高等部

新潟レディースU-18 準優勝・帝京長岡高校 13日～11月10日 ※決勝は11月17日

会場・北陸大学フットボールパーク(福井県) アカデミー(富山県)

優勝チームは2020年1月3日～7日にJ-GREEN堺(大阪府堺市)で開催される「JFA 第23回全日本U-18女子サッカー選手権大会」に出場 ※3位として出場

受賞のお知らせ

この度次の方の受賞があります

文部科学大臣表彰

顧問

十一 重樹 氏

生涯スポーツ功労者賞

